

エピソード64

質問が多い保護者がいます



大地先生
教職年数4年目の小学校教師



ジュリさん
教師を目指して勉強中



今日は、大地先生が同期の先生から相談されたお母さんのお話をお聞きします。

下山先生は、僕と同期で同じ小学校の特別支援学級の担任をしています。子どもは知的障害と情緒障害があります。

その子のお母さんは、精神的に不安定になることがあり、服薬しているそうです。学校の取組には協力的で、下山先生の話に何事も協力的で承諾してくれます。





下山先生が困っていたのはどんなことですか？

連絡帳や電話で子どもの学校での様子について連絡を取り合っていたそうです。その中で、

お母さんからよく「～に困っています。どうしたらいいでしょうか？」「私のやっていることはあっていますか？」「やっていることは間違っていますか？」と聞かれることがあったそうです。





そうでしたか、それで下山先生はどう対応したんですか？

下山先生は経験も知識も少ないけど、聞かれたことには何とか答えたいという思いで、本やインターネットで調べ、お母さんに伝えたそうです。

ですが、「先生は、学校でのおとなしい様子しか見てないから」「それが良いのはわかっていますが…」など、答えたことに特に関心をもっていない様子だし、「そうですか…」と流すこともあったとのこと。





それは、下山先生は困りますね。落ち込みますよね。

はい、「じゃあ、何を言えばいいのだろうか？」
といつも思っていたそうです。

「どのように答えてもそのような感じなら話を
聞くだけでもいいのか？」とも思い、時々、聞く
ことに徹するように心がけたこともあったそ
うです。





聞くことで、お母さんに変化はあったのでしょうか？

いいえ、お母さんが学校に頼るような様子や、連絡帳で相変わらず困っていることを書き連ねているため、何か力になりたいという思いはあったけど、

どのようにしていくことがお母さんにとって良いことかわからなくなったそうです。僕も下山先生の話聞いて、難しいなと思いました。





お母さんは、毎日の子育てに疲れていたのでしょうか？

下山先生と僕は、お母さんの気持ちがわからないわけでもなく、教師とは比べものにならない苦勞をしているよね、と話しました。

お母さんがしていることがうまくいかず、自信を失ってしまう様子もわかるよねと、話し合いました。





お母さんの気持ちはわかるけど、お母さんに
どうかかわったらいいのかわからない、と下
山先生は言ってたんですね。

お母さんに必要な支援はなんだったのでしょうか？
聞くだけでよかったのでしょうか？スクール
カウンセラーに聞いて欲しかったのでしょうか？
「がんばっていますね」と認めるのがよかったの
でしょうか？

下山先生は、悩み続け、何もわからないまま1年
が終わりました。僕も、困っている下山先生を見
るのが辛かったです。



ジュリさんの気づき



- 経験の少ない若い先生同士で話を聞き合うことで、心が軽くなることもあると思います。
- 具体的にどうしたらよいかのヒントを、先輩、管理職の先生、スクールカウンセラーに相談すると得られるのでしょうか。

お・し・ま・い

若い先生の保護者支援



大地先生



ジュリさん

<掲載してあるエピソードはエデュサポネットメンバーの経験をもとにした架空のエピソードです。>

イラスト 尾上樹里
(北海道教育大学 大学院生)